

7 週 神の摂理

質問 11. 神の摂理の御業とは、何ですか。

答え I 神の摂理の御業とは、神がすべての被造物と、そのあらゆる働きを、最も聖く、賢く、力強く保ち、治めておられることです。

解説

神の摂理

神の摂理とは、神が造られたそのすべてを持続して捕らえ、保つために、必要なすべてを供給し与えることを語ります（詩 119:89-91、145:15）。またそれらを、統べ治めておられることを意味します（詩 66:7、箴言 16:9）。イエス・キリストは「わたしの父は今に至るまで働いておられ、わたしも働いている。」（ヨハネ 5:17）と語られました。神がすべての万物を造り、その万物を治め、統治なさっていることを意味し、最も、神は贖いのために働かれ、キリストも、そのために働いておられるということです。

このように神の摂理は、神が世界に起こるすべてを導き統治なさることを語り（箴 16:33）、この世に起こるすべての事件と出来事を、ご自身の計画と栄光に従って、秩序あるようになさるということです。

神の摂理の対象

神の摂理は、すべての場所、人、事件に及びます。すべての場所というのは、神の御手から外される所はないということです（エレミヤ 23:23）。海の果てまでも神はおられる（詩篇 107:23-24）。ヨナが大きな魚の腹の中で命が保たれたのは、神の摂理によることでした。

神の摂理は、すべての人に及びます。すべての人の中で特に敬虔な者たちを特別な方法で保護します（I ペテロ 5:7）。神はご自身を恐れる者たちを保たせ守りますが、飢饉の中でも命を生きながらえさせます（詩篇 33:19）。そして神は、聖徒たちの大盾となります。これは、あらゆる危険の中でもお世話なさを意味します（詩篇 31:7）。しかも、彼らの涙を数えられ（詩篇 56:8）、弱まる時には力を与え（ヘブル 11:31）、不足を補ってくださいます（詩篇 23:4）。神はカラスを動員させエリヤを養われた（I 列王 17:6）。イエスの命が脅かされた時は、エジプトに逃れるようにされました（マタイ 2:13）。

神の摂理は、世に起こるすべての事件に及びます。戦争から勝利をもたらせ、雀まで養い、髪の毛さえも数えられる神です（マタイ 10:30）。

神の摂理の性格

神の摂理は、最も正しいです（詩 145:17）。それは、この世において罪人を裁かれることから現れます（詩 9:16）。そして神の摂理は、神のいと高き知恵から出て来ます（詩 104:24）。それですべての万物は、神の造られた目的に従って動かされます（ロマ 8:28、詩 28:9）。また神の摂理は、神の無限なる力から出ることです（ダニエル 4:35）。従って、どの誰であっても、神のご意志と御心に抵抗することはできない（ダニエル 4:32、詩 135:6）。神の聖徒は必ず、神の摂理を信じなければなりません。さらに神の摂理は深き極まりのゆえに、状況がどうで

あろうと固く信じることです。

神の摂理の種類

神の摂理には、通常的 (ordinary) 摂理と、非常な (extraordinary) 摂理と、一般的 (common) 摂理と、特別 (special) 摂理とに区分できます。通常的摂理とは、始めから神の定められた秩序通りに、すべてのことを保存なさること (ホセア 2:21-22)、非常な摂理とは、自然的秩序を飛び越え、あるいは、その反対に起こることです。一般的摂理とは、神は、ご自身の造られたすべての被造物を例外なくお世話することを語り (ネヘミヤ 9:6、使徒 17:28)、特別摂理とは、この世においてご自身の民を保護なさる、神の道徳的統治を語ります。

神の摂理と人間の罪

神は人生たちが罪を犯すのを制限させながら禁じています (詩 76:10)。時には人生たちが、罪を犯すのを許容なさったように見える聖書の箇所があります (使徒 14:16)。しかしそれは、神が彼らの罪を容認なさったものではありません。神の良い目的のために調整なさりながら、ご自身の栄光を現そうとなさってのことです。神はアッシリヤを起こし、イスラエルを撃たせ (イザヤ 10:5-7)、ヨセフの兄たちの悪行を通してイスラエルを保たせる計らいとされました (創 50:20)。

神の摂理に対する疑問

「神がこれほどご自身の民を生かしておられるのに、時々、あるいは、重ね重ね、その方の民が苦しみを受け、悲慘になる理由はどうしてですか」という質問が出てきます。それは、現在の状況が、神の摂理から無関係のように考えるからです。このように、神の敬虔な民が苦しみを受け、悪人たちが栄え平安な生活を生きる場合は、神の摂理に対する疑問が出てきます (ハバクク 1:12)。

また神が、ご自身の聖徒たちに約束してくださったのに、状況が約束の反対となる様相として現れる場合もあります。神はダビデに、王となることを約束してくださったのに、サウルはますます彼を殺そうとします。パウロは、暴風の中から神によって約束を受けました。だけど状況は良くなって行かなかったのです（使徒 27:41）。しかし、このようなすべての場合でも、神の摂理は、神の極まる正しさと知恵の中から出て来ることだと記憶すべきです。人生は、神の計画と目的が全部は理解できないので、神の摂理に疑問を持ったり、疑いを抱いてはなりません。むしろへりくだって、神の完全な御心を理解できるまで待たなければなりません。私たちの義務は、神の摂理に屈服して、摂理を心に留め、摂理を見守ることです（詩 107:43）。